

パブリックコメントによる第5次大船渡市男女共同参画行動計画（案）に対する意見等と検討結果及び計画案への反映状況の結果

No.	意見区分	意見の概要	検討結果（市の考え方）	反映状況
1	第3章 計画の内容	「誰もが自分らしく活躍し、暮らし続けたいまち大船渡」ではなく、「誰もが自分らしく、いきいきと暮らし続けたいまち大船渡」ではどうでしょうか？ 生きているだけでも大変なこの世の中で「活躍」を文言に入れていることは、一市民としてプレッシャーに感じます。	ご意見を踏まえて、次のとおり見直します。 「誰もが自分らしく <u>活躍し</u> 、暮らし続けたいまち大船渡」 ↓ 「誰もが自分らしさを互いに認め合い、暮らし続けたいまち大船渡」	反映
2	第3章 計画の内容	SDGsで定められているゴール達成には、各項目の連携が不可欠です。ジェンダー平等を実現するためにも、幅広い視点での取り組みを期待します。	男女共同参画の取組は、SDGsで定める他のゴールにも関連することから、計画案の5ページに、全てのゴールのアイコンを掲載しております。 ご意見を踏まえて、同ページ「2計画の位置付け」中の記載を、次のとおり見直します。 「(4) この計画は、SDGs（持続可能な開発目標）で掲げる、「ジェンダー平等と女性と女児のエンパワーメント」の達成に貢献するとともに、男女共同参画の取組が、あらゆる差別や不平等感の解消、ワーク・ライフ・バランスの改善など、全てのゴールの達成に必要な要素であることを強く意識して策定します。」 ↓ 「(4) この計画は、SDGs（持続可能な開発目標）で掲げる、「5ジェンダー平等と女性・女児のエンパワーメント」の達成に貢献するとともに、男女共同参画の取組が、あらゆる差別や不平等感の解消、ワーク・ライフ・バランスの改善など、17の全てのゴールの達成に必要な要素であることを強く意識して策定します。」	反映
3	基本目標1(3) 「多様な性の在り方に対する理解促進」	大船渡市は性的マイノリティに対する理解が、他地域と比べて遅れているように感じます。 例えば日常の中でも「結婚しないの？」と言った声かけを非常にたくさん受けますが、同性のパートナーを持つ方が同じような質問をされたらどう感じるのでしょうか？ 大船渡市にパートナーシップ宣誓制度もない中で、日々苦痛に感じることを思います。 計画書内で実施されたと記載のある「多様な性（LGBTQ+）」をテーマとした講座は市民への理解を広げていくために有意義だと思うので、ぜひ今後も積極的に開催してください。 学校保健事業においても、多様な性のあり方に関する内容が扱われるとよいと思います。	ご意見を踏まえて、本計画の各種取組を推進してまいります。	(意見を踏まえて取組を推進)

No.	意見区分	意見の概要	検討結果（市の考え方）	反映状況
4	基本目標 1 (3) 「多様な性の在り 方に対する理解促 進」	<p>パートナーシップ制度の導入検討が令和9年となっていることに関して、より早い対応を希望します。</p> <p>身近に同性同士のカップルがいますが、カップルは男女でなるものだという前提が根強い今の大船渡で同性のパートナーがいると周りに伝えることはとても難しく、日常生活や行政サービスを利用する上でもパートナーがいないように振る舞うことにとっても苦痛を感じているようです。</p> <p>大船渡市としてパートナーシップ制度の導入を検討していることは画期的だと思いますが、導入検討時期が令和9年となっている、すなわち彼らがパートナーとの関係性を周りに説明できるようになるまで最低であと5年は待たなければならないということは、当人たちにとって暮らしやすい環境を作る計画であるとは到底言えないと思います。</p> <p>彼らが制度を使う・使わないに関わらず、パートナーシップ制度の導入により様々なパートナーシップの形が行政や各機関に周知されることは、全ての人が暮らしやすい社会の実現に向けて必要なプロセスです。周辺都市が今年や来年に導入を検討している状況も踏まえ、市として真剣に導入を検討していただきたいです。</p>	<p>性的マイノリティ当事者や関係者の「生きにくさ」や不利益につながるようなことがないよう、市民の理解を深める取組を推進しながら、他自治体の先進事例や県内の状況を踏まえつつ、パートナーシップ制度の導入に係る検討を行い、導入時期についても、適切な時期を見極め、対応したいと考えています。</p> <p>なお、ご意見を踏まえて、具体的取組における事業No.2「パートナーシップ制度の導入に係る検討」の「年度別取組状況」の内容を、次のとおり見直します。</p> <p>「（導入などに係る検討）」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「（制度内容や導入時期の具体的検討など）」</p>	反映
5		<p>パートナーシップ宣誓制度について、予定の実施年度より少しでも前倒しして頂きたいです。</p> <p>この制度の施行により、誰もが安心を得られる地域という認識が広がれば、隣接する福祉や教育領域での進展も望めると思うからです。</p>		
6	基本目標 1 (3) 「多様な性の在り 方に対する理解促 進」	<p>目標指標について、市民アンケート調査内で、何をもって「LGBT※9などについて知っている」と判断しているのか不明確であり、この数値を今後の目標指標とするのは適切でないと考えます。</p>	<p>今年度実施した市民アンケート調査用紙には、「LGBT」及び「LGBTQ+」の解説文章を記載した上で伺いました。</p> <p>その結果、「知っている」と答えた市民の割合が約50%にとどまっており、言葉の意味について周知・普及を図ることが必要と捉えております。</p> <p>つきましては、ご意見を踏まえ、次のとおり見直します。</p> <p>「LGBT※9などについて知っている」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「LGBT※9などの言葉の意味を知っている」</p>	反映

No.	意見区分	意見の概要	検討結果（市の考え方）	反映状況
7	基本目標1(3) 「多様な性の在り方に対する理解促進」  基本目標2(3) 「DVや生活困窮などの課題を抱える対象者への支援と相談窓口などの周知強化」	性的マイノリティやDVなどの対応について、専門家に加え、ピア・サポーターなど、当事者達にとって、継続的な相談のための敷居が低い人的資源の配置や、取組も充実して頂ければと思います。	ご意見を踏まえて、本計画の取組を推進する中で、市のみならず専門性を有する関係機関との更なる連携強化を図ってまいります。  【※ピア・サポーターとは、自らも障害や病気など同じ経験をした人が、その知識を生かして同じ境遇にある仲間をサポートする人のこと。当事者ならではの経験から、相談支援などの活動を行う。】	(意見を踏まえて取組を推進)
8	基本目標2 「パートナーと支え合う家庭生活の実現」	高齢単身世帯や結婚を選ばない若者も増えている社会の中で、「パートナーと支え合う」という表現を用いるのはいかがなものでしょうか。 単身者であっても不安なく暮らせる社会を希望します。	市民アンケート調査結果により、家庭生活における家事・育児・介護に係る女性負担の重さが明らかとなったため、男性の参画促進を図るべく、「パートナー」という用語により表現を試みましたが、ご意見を踏まえて、次のとおり見直します。 「パートナーと支え合う家庭生活の実現」 ↓ 「ともに支え合う家庭生活の実現」	反映
9	基本目標2 「パートナーと支え合う家庭生活の実現」  基本目標3 「安心して働ける魅力ある職場環境づくり」	男女のワークライフバランス、男性の家事や育児・介護参加、女性のキャリアアップなどが、億劫な分野ではなく、挑戦を楽しめるものとしての仕掛けを作って頂きたいです。 ときに企業に出張して、直接社員や役員に面白さを伝えていく出張講座などを企画、実施して頂きたいです。 働く場の柔軟な空気は、各家庭や地域をも変えていくと思います。	ご意見を踏まえて、本計画の各種取組を推進してまいります。	(意見を踏まえて取組を推進)